

政令指定都市 ごみ分別・排出方法一覧

	分別数	ごみ		資源物							
		可燃	不燃	ぶら容器包装	びん	缶	ペットボトル	有害ごみ	古紙	古布	他
京都	5	週2回(有料)		週1回(有料)	缶・びん・ペット週1回(有料)						小型金属 月1回
札幌	13	週2回(有料)	4週1回(有料)	週1回	缶・びん・ペット週1回			4週1回	カセットボンベ、乾電池	2週1回	枝・葉・草 4週1回
仙台	9	週2回(有料)		週1回(有料)				週1回	乾電池	月2回	
新潟	13	週3回(有料)	月1回(有料)	週1回	月2回	月2回	月2回	月1回	有害危険物	月2回	枝葉・草 週1回
さいたま	18	週2回	週1回	食品包装プラ 週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	蛍光管、乾電池、体温計、ライター	週1回	週1回
千葉	19	週2回	月2回		週1回	週1回	週1回	月2回	乾電池、体温計	週1回	週1回
川崎	7	週3回			週1回	週1回	週1回	週1回	乾電池		小物金属 月2回
横浜	15	週3回	週2回	週1回	缶・びん・ペット週1回			週2回	乾電池、体温計、スプレー缶	月2回	月2回 小物金属 週1回
相模原	16	週3回		週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	蛍光管、体温計	週1回	週1回 使用済み食用油 週1回
静岡	14	週2回			月1回	月1回	月1回	月1回	ライター、体温計、乾電池	月1回~2回	月1回
浜松	10	週2回	2週1回	週1回	2週1回	2週1回	2週1回	2週1回	乾電池、体温計		
名古屋	9	週2回	月1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週2回	発火性危険物	紙製容器包装 週1回	
大阪	4	週2回		週1回	缶・びん・ペット週1回						
堺	6	週2回		週1回	月2回		月2回				月1回
神戸	6	週2回	週2回	週1回	缶・びん・ペット週1回			月2回	カセットボンベ、スプレー		
岡山	15	週2回(有料)	月1回(有料)		月1回	月1回	月2回	月1回	乾電池、体温計	月2回	月2回 天ぷら油 月1回
広島	14	週2回	月2回	リサイクルプラ 週1回	ガラス類 月2回	金属類 月2回	週1回	月2回		月2回	月2回
北九州	5	週2回(有料)		週1回(有料)	かん・びん 週1回(有料)		週1回(有料)				
福岡	4	週2回(有料)	月2回(有料)		びん・ペットボトル 月1回(有料)						

## 有料指定袋手数料の活用内容(予算) (単位:千円)

	手数料収入	経費	財源活用事業
18年度(決算)	1,081,048	566,058	514,990
19年度(決算)	2,170,256	1,168,589	1,001,667
20年度(決算)	1,916,913	966,482	950,431
21年度(決算)	1,872,424	731,144	1,141,280
22年度(決算)	1,874,200	907,100	967,100
23年度(予算)	1,860,200	737,100	1,123,100

(注)「手数料収入」は、ゴミ袋を販売したことによる収入。「経費」はゴミ袋の製造・管理などに要する費用(市職員人件費は含んでいない)。「財源活用事業」とは、いわゆる「儲け」に相当する部分で、「基金」への貯め込みを含め各種事業の財源として活用されている。

平成23年7月  
環境政策局

有料指定袋製造経費について

製造業者：株式会社ケービーエス京都プロジェクト (一般競争入札により決定)

契約日：平成23年3月23日

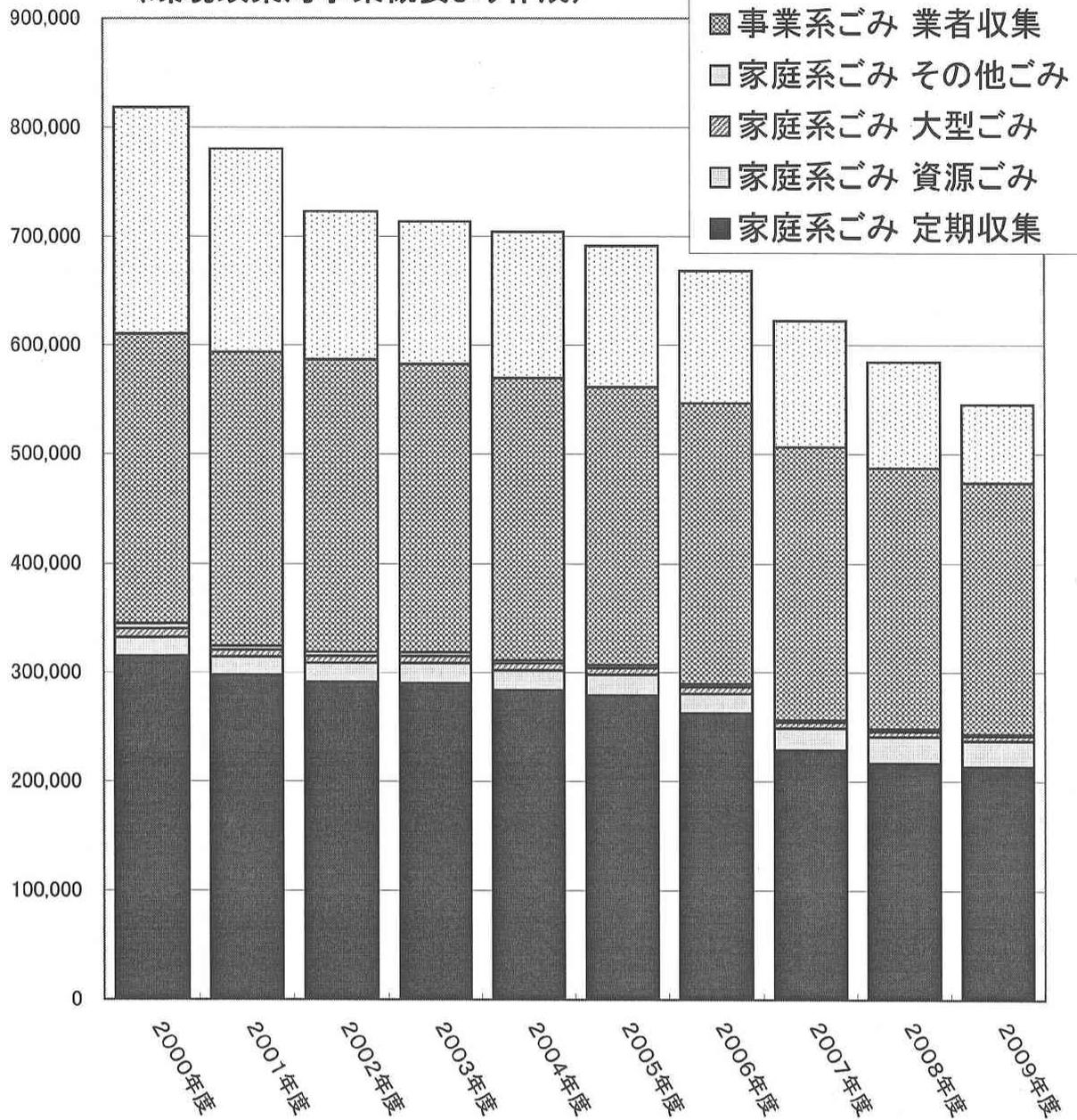
品名		製造数(千枚)	税抜単価(円)	金額(円)
家庭ごみ用	45ㇿ袋	3,750	6.31	23,662,500
	30ㇿ袋	4,250	4.83	20,527,500
	20ㇿ袋	4,150	3.82	15,853,000
	10ㇿ袋	2,750	2.44	6,710,000
	5ㇿ袋	950	2.00	1,900,000
資源ごみ用	45ㇿ袋	950	6.28	5,966,000
	30ㇿ袋	1,700	4.87	8,279,000
	20ㇿ袋	2,225	3.85	8,566,250
税抜き合計				91,464,250
契約金額				96,037,462
うち消費税及び地方消費税相当額				4,573,212

# 有料指定袋制度に伴う、財源活用事業の内訳(決算)

単位:千円  
(予算)

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	<b>ごみ減量・リサイクルの推進事業</b>					
1	エコバスツアー等のごみ減量、分別リサイクル等の普及啓発	62,846	56,799	10,214	26,222	63,600
2	32名のボランティアによるみんなのエコナビゲーター				389	2,600
3	ゴミ減量推進会議の活動支援	15,289	50,279	43,400	39,200	35,600
4	京(みやこ)の環境みらい創生事業(3年間千万円を助成)		12,742	31,457	31,736	34,500
5	各区環境パートナーシップ事業		12,165	13,027	10,356	11,100
6	不用品リサイクル情報案内システム運用		1,585	3,373	3,469	3,600
7	電動処理機、コンポスト委の支援する生ごみ堆肥化等の活動支援	172,840	48,562	19,565	13,679	18,600
8	コミュニティ回収制度	6,924	27,220	26,545	32,669	41,200
9	リユースビン・蛍光灯の資源物拠点回収事業の推進	20,188	43,193	30,900	27,755	39,000
10 新	「京都市循環型社会推進基本計画」推進(包装材削減にむけた基礎調査など)					25,300
11	缶・びん・ペットボトルのリサイクルの推進		173,370	352,025	108,401	106,500
12	プラスチック製容器包装のリサイクル推進(施設運営費として活用)		453,346	249,295	230,999	266,300
13	環境体験学習プログラム		2,381	3,395	185	
14	地域の環境施策の普及・啓発を実施するごみ減量相談窓口事業		29,985	29,304		
15	「京のごみ戦略21」進捗状況把握等調査	10,000	1,099			
16	有料指定袋制実施に伴う広報・啓発(18年9月にお試し袋セットを配布)	185,726				
17	京のごみ減量宣言シンポジウムの開催		6,117			
	<b>まちなみの美化の推進</b>					
1	カラス用ネットの貸与、ボランティア袋配布等のまちなみの美化活動への支援	16,437	13,169	10,085	7,125	10,800
2	不法投棄対策		27,197	1,923	5,554	6,000
	<b>地球温暖化対策</b>					
1	使用済みてんぷら油の回収支援	24,740	33,391	32,357	32,564	39,600
2	バイオマス活用推進事業の策定		9,070	93,566	33,166	9,800
3	太陽光発電普及促進事業				64,728	69,800
4	こどもエコライフチャレンジ推進事業				6,233	13,400
5	「Doyoukyouto?」プロジェクト推進事業				4,798	19,800
6 新	次世代自動車普及促進事業					23,500
7 新	「環境モデル都市・京都」推進事業					10,000
	<b>他局での活用事業</b>					
1 新	地域産材普及供給体制整備事業					5,000
2	地球温暖化防止森林吸収源対策				50,631	43,300
3 新	平成の京町家普及・促進事業					21,000
4 新	都市緑化事業(街路樹整備)					21,000
5	間伐材を活用した道路付属物の整備				6,939	6,200
6	学校のエコ改修と環境教育事業				5,565	
7	右京から考えるエコ交通				566	
	<b>環境ファンドへの積み立て</b>				398,351	20,000
	<b>合計</b>	<b>514,990</b>	<b>1,001,670</b>	<b>950,431</b>	<b>1,141,280</b>	<b>967,100</b>

### 京都市のごみ収集量の推移 (環境政策局事業概要より作成)



ごみ収集量の推移

年度	収集総量	家庭系ごみ				事業系ごみ		備考
		定期収集	資源ごみ	大型ごみ	その他ごみ	業者収集	持ち込み	
2000年度	818,274	315,076	17,275	7,867	4,571	265,321	208,164	
2001年度	780,618	297,535	17,004	6,254	3,640	268,802	187,383	7月持ち込みごみ量の制限(100ℓ以下/月)
2002年度	722,770	291,197	17,567	6,266	3,936	267,495	136,309	7月建設リサイクル法施行、建築廃材持ち込み禁止
2003年度	713,569	290,106	18,475	6,507	3,427	263,592	131,462	
2004年度	704,446	283,479	18,733	6,139	2,951	258,200	134,944	
2005年度	691,336	278,665	19,447	6,174	2,523	254,398	130,129	
2006年度	668,518	262,660	17,880	6,296	2,618	256,933	122,131	10月家庭ごみ有料化実施
2007年度	622,086	228,419	20,350	5,656	1,987	249,632	116,042	10月プラスチック製容器包装分別収集を全世帯に開始
2008年度	584,306	216,490	24,307	5,164	2,153	238,949	97,243	
2009年度	545,098	213,319	23,741	4,675	1,836	229,723	71,804	告示産廃の受け入れ廃止、持ちこみごみ手数料改定

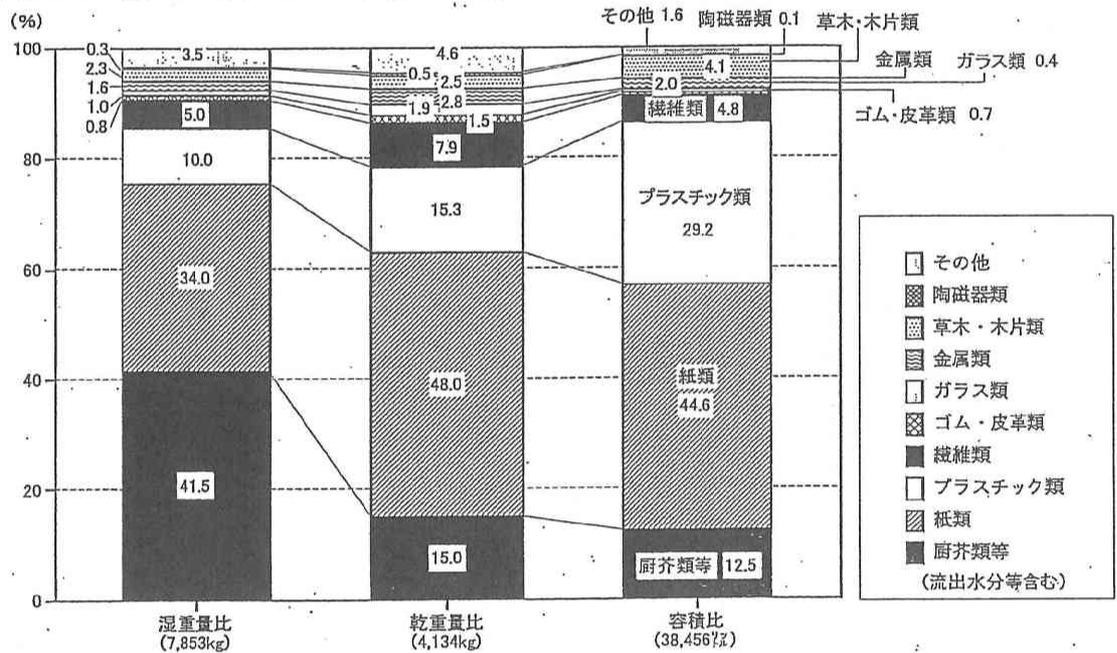
# ごみ組成の実態

2010年度 家庭ごみ細組成調査報告書より

## 燃やすごみ

図3のとおり、湿重量比では、厨芥類等が42%と最も大きく、次いで、紙類が34%であった。プラスチック類の10%を合わせた3成分で、家庭ごみ全体の約80%以上を占めている。

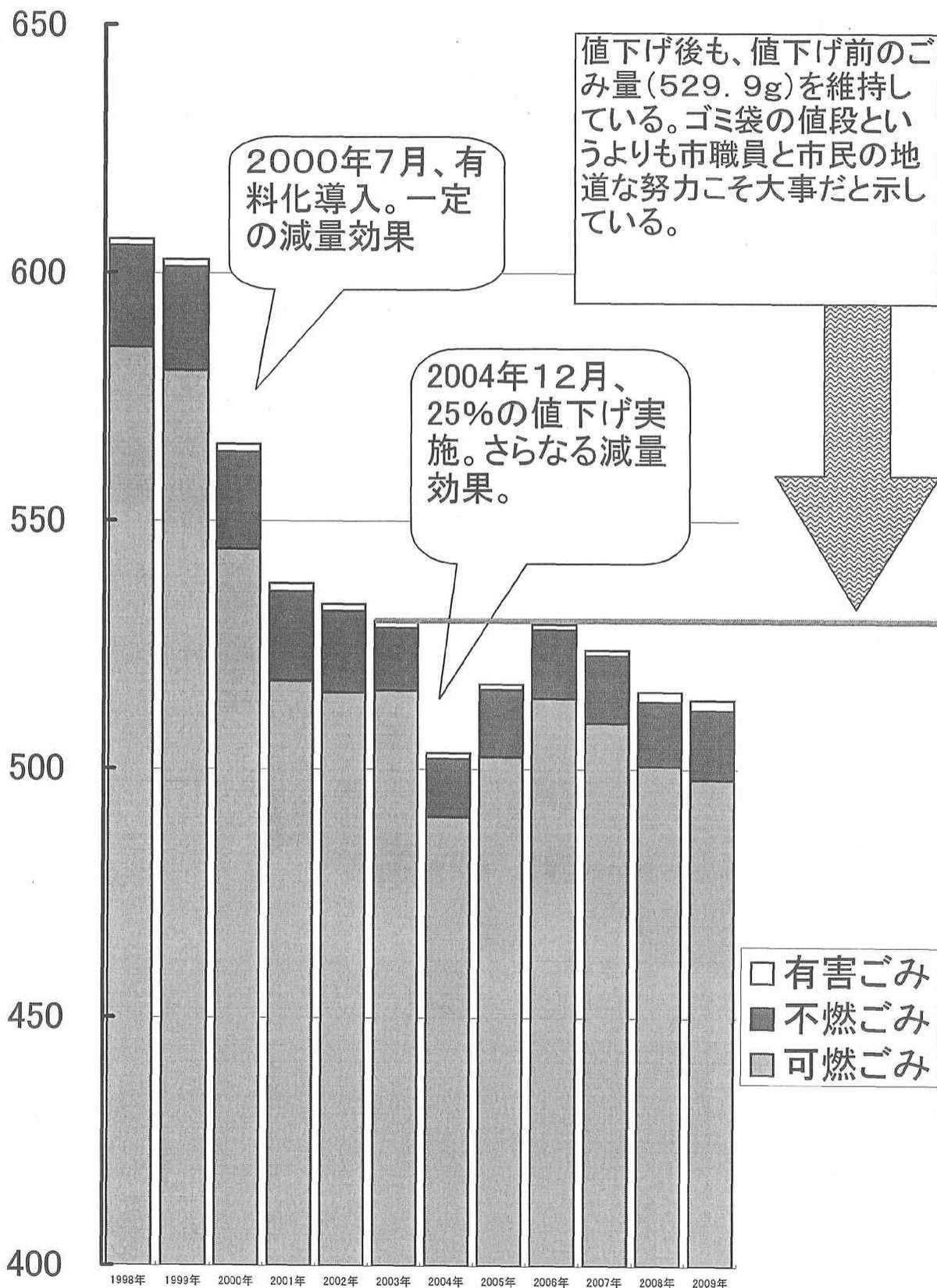
容積比では、見かけ比重が小さくかさばるプラスチック類と紙類の比率が湿重量比よりも高くなり、紙類が45%、プラスチック類が29%となっている。次いで、厨芥類等13%の順となり、この3成分で全体の約90%を占めている。



注) ( ) 内の量は28日換算等の補正後の量。

図3 燃やすごみの成分別組成

# ゴミ袋代を25%安くした千葉県八千代市 市民一人一日の家庭ごみ量(g)の変化



## 焼却灰溶融施設の運転費は、年間19億円超

焼却灰溶融施設運転費（通年の場合）

1年目 **16億4800万円**

4年目 **19億4000万円**

※市職員の人件費分除く

※2011年9月7日くらし環境委員会・環境政策局答弁より作成

「（焼却灰溶融施設の運転費について）一年目は16億4800万円に、4年目は、4年目と1年目の点検整備費の差額2億9200万円を加えたもの」

## 地球温暖化対策に逆行する焼却灰溶融施設

焼却灰溶融施設による二酸化炭素排出量(見込み)について 2010年5月環境政策局資料より

	当初見込	ごみ減量等を踏まえた効率的・経済的運転による見込み
年間残灰処理量	約9.2万ト	約5.1万ト
都市ガス使用量 (a)	21,400 千m <sup>3</sup>	11,800 千m <sup>3</sup>
二酸化炭素排出係数 (b)	2.29t-CO <sub>2</sub>	
二酸化炭素排出量 (a)×(b)	約4万9000t-CO <sub>2</sub>	約2万7000t-CO <sub>2</sub>

## 東部山間埋立処分地の寿命

### 焼却灰溶融施設を動かさなくても50年以上

—H22年12月 基本計画審査特別委員会での市当局の答弁—

「ごみ減量をこれから10年間で2分の1にしていくと、最後のピーク時の2分の1に減量しようということであれば50年ということです。それを更にこの溶融施設によって70年まで持たそうというのが私どもの現在の計画」